

会 議 名	令和3年度 第1回 板橋区産業活性化推進会議
開 催 日 時	令和3年8月3日(火) 14時00分から15時30分まで
開 催 場 所	区役所災害対策室A B
出 席 者	14人 〔委員〕植田浩史氏 堀田和彦氏 額田春華氏 大島隆夫氏 木田孝雄氏 岩月宏昌氏 木村博之氏 樋口晃久氏 千種伸彰氏 鈴木真由美氏 堺由隆氏 〔区側出席者〕小林課長 藤原支所長 〔産業振興公社〕大森事務局長
会議の公開(傍聴)	<u>公開(傍聴できる)</u>
傍 聴 者 数	0人
議 事 内 容	第1回会議 1 会議の公開について 2 議題 (1)産業振興事業計画2021の進捗状況及び追録版について (2)産業振興事業計画2025中間のまとめ(案)について (3)構想進行管理の流れについて
配 布 資 料	1 板橋区産業活性化推進会議(第6期) 委員名簿 2 板橋区産業振興事業計画2021 令和2年度3月末時点進捗状況 3 板橋区産業振興事業計画2021 追録版 4 板橋区産業振興事業計画2025<中間のまとめ>(案) 5 構想進行管理の流れについて 冊子 板橋区産業振興構想2025・板橋区産業振興事業計画2018 冊子 板橋区産業振興事業計画2021
所 管 課	産業経済部 産業振興課 工業振興係 (3579-2193)
以下、議事要点	
○会議の公開について 会長から附属機関等の会議の公開に関する基準に基づき公開されることを説明した。	

○議題（１）産業振興事業計画 2021 の進捗状況及び追録版について

小林課長から資料 2, 3 に基づき令和 2 年度 3 月末までの各事業の進捗状況及び追録版について説明した。

[主な意見]

- ① 事業 No. 6「新産業参入支援」は医療系企業限定か。
→答弁：過去には「航空分野」の参入支援も実施した。医療分野への支援も含め、時代のニーズに即して適宜見直しを行う。
- ② 事業 No. 11「ベンチャー育成プラットフォームの構築」について。表現が抽象的なため具体的にどういった事業をイメージしているのか教えてほしい。
→答弁：事業者に区内に立地してもらう施策が第一に必要と判断して、事務所等の家賃を対象とした補助金を新設した。
- ③ 事業 No. 12「受発注支援」について。事業として手厚すぎるのではないか。
→答弁：人手不足や多忙により情報収集が難しい事業者もいることから、伴走型支援として実施している。
- ④ 板橋産業見本市の位置づけを調査検討した方が良い。
→答弁：リーマンショック以降、ビジネス（B to B）の要素を強化している。また、昨年度はオンライン開催も実施した。今後も B to B を中心とした展示会という位置づけで事業を実施していきたい。
- ⑤ コロナ禍において板橋区の事業者の現状をどう把握しているのか。
→答弁：昨年度「令和 2 年度板橋区全産業調査」を実施し、区内事業者の現状把握を行った。また、今年度区の「経営安定化特別融資」を申し込んだ事業者に対してアンケートを実施している。
- ⑥ アフターコロナを踏まえた区の産業の今後の方向性を議論すべき。
→答弁：追録版は令和 3 年 3 月に策定したため、現在の経済情勢を反映しきれていない。検討を進めている事業計画 2025 に現在の経済情勢等をできる限り反映させたい。
- ⑦ 事業 No. 84「板橋区産業振興公社のあり方検討」について。両組織の立ち位置を変更するという事か。
→答弁：平成 24 年に公社が発足して以降、徐々に区との事業領域が曖昧になってきたため、その点を改めて整理する予定である。
- ⑧ 追録版には各事業の事業費の実績値が掲げられている。これらの費用は当初の想定と比べてどうだったのか。
→答弁：小規模企業者等緊急家賃助成金交付事業など、当初の想定より少なかった事業もあった。一方公社の事業では多くの申し込みを頂き補正予算を組んだ経緯がある。周知方法には課題もあるが、総じて一定の成果を得ることができている。実施状況をみて次年度以降に改善していく。
- ⑨ Pay Pay を利用できない方もいらっしゃる。そういった方へのサポートも充実してほしい。

→答弁：今年度はP a y P a y以外にもプレミアム付き商品券も実施する予定である。どちらの事業も多くの方に利用して頂けるよう周知活動に努めていく。

○議題（２）産業振興事業計画 2025 中間のまとめ（案）について

小林課長から資料４に基づき産業振興事業計画 2025 中間のまとめ（案）について説明した。

[主な意見]

① 事業計画 2025 では、水害などを含む気候変動に対する取組を盛り込むべきではないか。また、脱炭素の視点で行政支援を盛り込んでほしい。例えば区で発電事業を実施してはどうか。

→答弁：工業専用地域を有している点を踏まえつつ、事業計画 2025 に反映させられるものは反映する。

② いたばしのいっぴんに認定されたお店の中でも廃業しているお店が見られる。制度の再構築等、検討してもらいたい。

→答弁：廃業しているお店があるのは承知している。いたばしのいっぴんのあり方については今後検討していく。

③ 構想 2025 のイメージ図と事業計画 2025 とのつながりを分かりやすくすべき。

④ 区内事業所数や付加価値額の変化を踏まえるとともに、事業計画 2025 では何を重要な指標とするのか確認すべき。

⑤ 区の行政手続きの I T 化を進め、D X について区内事業者に対する模範としてもらいたい。

⑥ S D G s 、 D X 、 E C など、時代の要請はあるものの中小零細企業にはなかなか踏み込みづらい面がある。このギャップを埋められるよう、分かりやすい事業を検討してもらいたい。

⑦ 区が実施している就労支援事業を更に強化してもらいたい。

⑧ 事業計画 2025 にも記載されている、志村みの早生大根の有効活用については、J A と一緒に区にも積極的に協力してもらいたい。

⑨ 事業の周知方法を工夫して、若い方が認知できるようにして貰いたい。

⑩ 事業計画 2025 では「ポストコロナを見据えて」と記載されているが、コロナが続く可能性も十分ある。その点も踏まえた計画にしてもらいたい。

○議題（３）構想進行管理の流れについて

小林課長から資料５に基づき今後の計画策定に至るまでの流れについて説明した。

会議の内容は、以上のとおりである。